

【難聴治療 最前線】「聞こえが悪い」「耳だれで困っている」と悩んでいるあなたに

「堀病院」の
宇高毅先生に
聞きました

慢性中耳炎による難聴治療に有効な『鼓室形成術』

加齢による聞こえの不安。難聴に悩んでいるながら、年だから仕方ないとあきらめている人は、いまいせんか。難聴の原因はもしかしたら慢性中耳炎かもしれません。多数の慢性中耳炎の手術を手掛けている「堀病院」の宇高毅先生(写真)に、慢性中耳炎による難聴とその治療法について聞きました。

Q 慢性中耳炎はどんな病気？

子供の時にかかった中耳炎などにより、鼓膜に返した結果、耳の骨が硬穴が開き、聴力が低下する病気で、特徴的な症状は難聴と耳だれです。子供のころから、これらの症状に悩まされながら、あきらめて放置している方も多いよう。症状がありながら破れた鼓膜を放置している

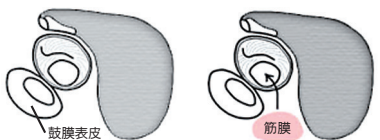
Q 慢性中耳炎の治療法は？

慢性中耳炎の根本的な治療法は、手術しかありません。鼓膜の穴が小さい場合は外来処置などで、穴を閉鎖することができますが、残念ながら多くの場合、難聴や鼓膜

Q 鼓室形成術の具体的方法は？

鼓室形成術は、炎症で傷んだ組織を取り除き、鼓膜や耳小骨を修復することによって、聴力を改善させる手術法です。基本的に全身麻酔で行うので、痛みはありません。手術時間も、病気の進行具合にもよりますが、1、2時間で終わります。入院期間も、鼓膜のみを再生する手術では、1、

鼓膜を再生する「鼓室形成術」



①三層ある鼓膜のうち外側の表皮のみをはがす

②筋膜(筋肉を包んでいる薄い膜)を鼓膜にはさむ



③はがした鼓膜を元に戻す

④症例によっては乳突洞の開放・病巣除去までに行う。術後半年後までに筋膜が鼓膜に吸収され、鼓膜が再生する

Q 手術をしたら必ず聞こえは良くなりますか

鼓室形成術を行った場合、鼓膜は95%以上の確率で閉鎖することが可能です。一方、聴力に関しては、音は鼓膜だけでなく、耳小骨へも伝わっているため、鼓膜だけの治療では改善に至らず、耳

Q 手術をしたら再発することはありますか

残念ながら一度閉鎖した鼓膜に再び穴が開くことがまれにあります。さまざまな原因が考えられます。

Q 保険は効きますか

すべての保険適応です。高齢者は医療費の1割負担です。また「高額療養費制度」という医療費を減免してくれる制度もありますので、具体的金額は手術を受ける医療機関でお尋ねください。



宇高毅(つよし)先生

1996年産業医科大学医学部卒業。同年同大学耳鼻咽喉科学教室入局。同大学医学部助教。九州労災病院耳鼻咽喉科部長、熊本労災病院耳鼻咽喉科部長を経て、11年より堀病院院長



耳鼻咽喉科・眼科
堀病院
☎084(926)3387
福山市沖野上町3-4-13
耳鼻科HP=<http://www.hori.or.jp/>
眼科HP=<http://ganka-hori.com/>
堀病院